

1 年次生の皆さん、経済学部長の池上岳彦です。

大学の生活や経済学部での勉強には慣れましたか。東日本大震災の影響で入学式が中止されたり、授業開始が延期されたりと、戸惑うことも多かったと思います。しかし、戸惑ってばかりもいられません。大学の4年間は案外短いものです。それぞれが目標を定め、そこに向かって着実に歩みを進めて下さい。

学科ごとの履修ガイダンスの際、立教大学のスクールカラーと同じ紫色のファイルを皆さんに配りました。このファイルは、学習ポートフォリオと言います。皆さんの大学生活を8期に区分し、具体的な目標の下で計画的に学びを進められるよう作成したものです。最初から高い目標を定め、長く努力を続けるのは難しいことです。そんな時、目標に至る道筋をいくつか区分し、小さな達成感を積み重ねながら高い目標に向かう方が、やる気は長続きします。

また、自分の生活や学びをその都度振り返ることも、皆さんの成長にとって大切なことです。基礎ゼミナールをはじめ様々な授業でレジュメやレポートを作成してきたと思います。そうしたレジュメやレポートなど日々の学習の記録をこのファイルにどんどん綴じ込んでいって下さい。3年次、4年次になって見返した時、自分がずいぶん成長したこと、努力を積み重ねてきたことが再確認できると思います。

大学を卒業して皆さんは混沌と不確実性に満ちた社会に踏み出すこととなります。そこでは重い負荷や様々なストレスに押し潰されそうに感じる時があるかもしれません。こうした負荷やストレスを跳ね返し、自分らしく生きるために必要な能力の一つに自己肯定感があります。分かりやすく言えば、自分に対する自信です。この自己肯定感は頑張った体験と達成感を積み重ねることと身に付く能力です。

経済学部で学びを進める際に、学習ポートフォリオファイルを有効に活用し、自分に対する自信とこれからを生きる思考の軸を手にして欲しいと思います。

経済学部長 池上 岳彦